

東海第二発電所における、新規規制基準への適合性確認審査の申請内容についてお知らせします。
今回は、地震対策についてご説明します。

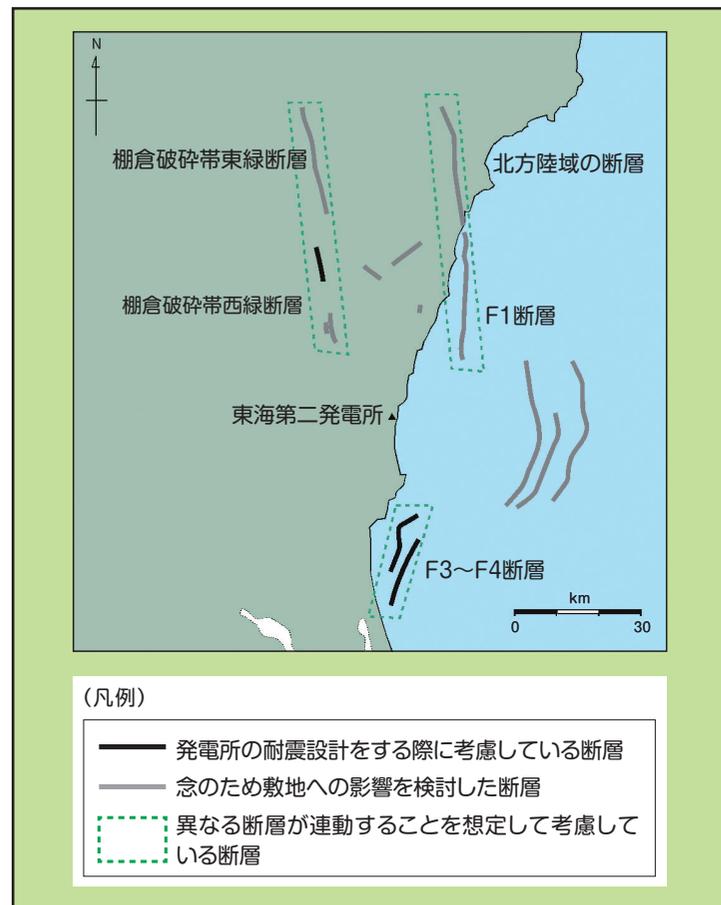
設計の基本となる基準地震動を901ガル※に見直しました

基準地震動評価

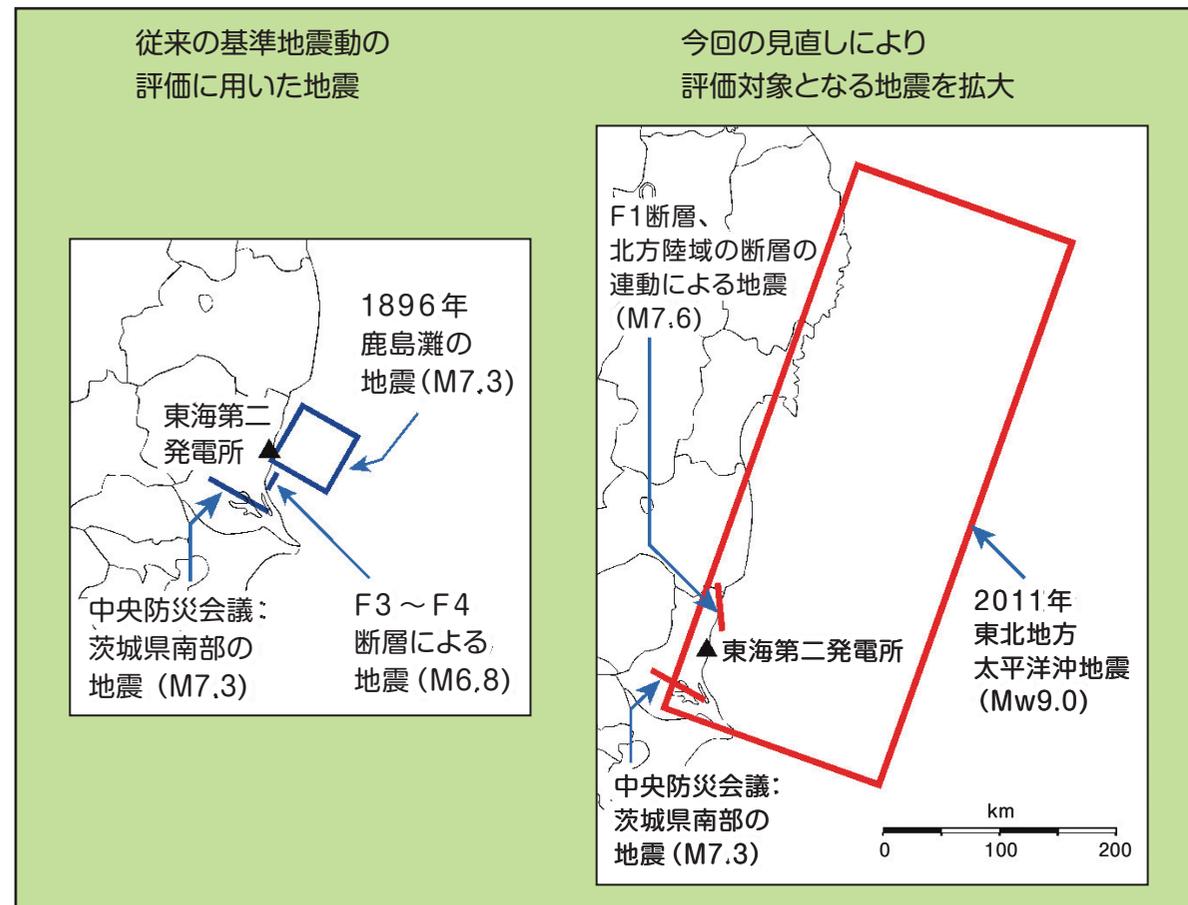
- 基準地震動とは：発電所の敷地に大きな影響を及ぼすおそれのある地震の揺れのことをいいます
- 今回の見直し：地質調査や東北地方太平洋沖地震などの知見を踏まえ、安全上重要な設備に対して十分な裕度をもった安全性を確保するために、従来の基準地震動を見直しました

※ガル：地震によって地盤や建物に加えられる揺れの強さ（加速度）を示すもの

(地質調査) 発電所敷地内に活断層なし



(新知見など) 従来よりも評価対象となる地震を拡大



基準地震動を
より厳しく設定

従来600ガル
↓
今回901ガル
に見直し

※東北地方太平洋沖地震における東海第二発電所の地下での最大観測値は555ガルでした

今後は、見直した基準地震動に対して、重要な設備の安全機能が損なわれない設計であることを確認するとともに、地震対策を継続して行います

適合性確認は、安全性向上に資するものであり、再稼働に直結するものではありません
今後とも、住民の皆様に積極的かつきめ細かく丁寧に情報を提供してまいります

基礎地盤が重要な建屋を十分に支えることを確認しました

基礎地盤の安定性評価

- 基礎地盤とは：原子炉建屋などの重要な建屋は、地震による揺れが小さく、かつ強固な地盤（基礎地盤）の上に設置しています
- 安定性評価とは：見直した基準地震動（901ガル）を用いて評価した結果、地震時の建屋の揺れなどに対して、基礎地盤が建屋を十分に支えること（安定性）を確認しました

< 評価結果 >

◇地盤が建屋を十分に支えている

原子炉建屋の地震時最大接地圧（地震時の建物の揺れにより、地盤に作用する力）に対して十分な支持力を有している（右イメージ図）

◇建屋の横移動が発生しない

すべり評価（地震時に地盤をすべらそうとする力と地盤の強さの比）が、国の定めた基準値を満たしている

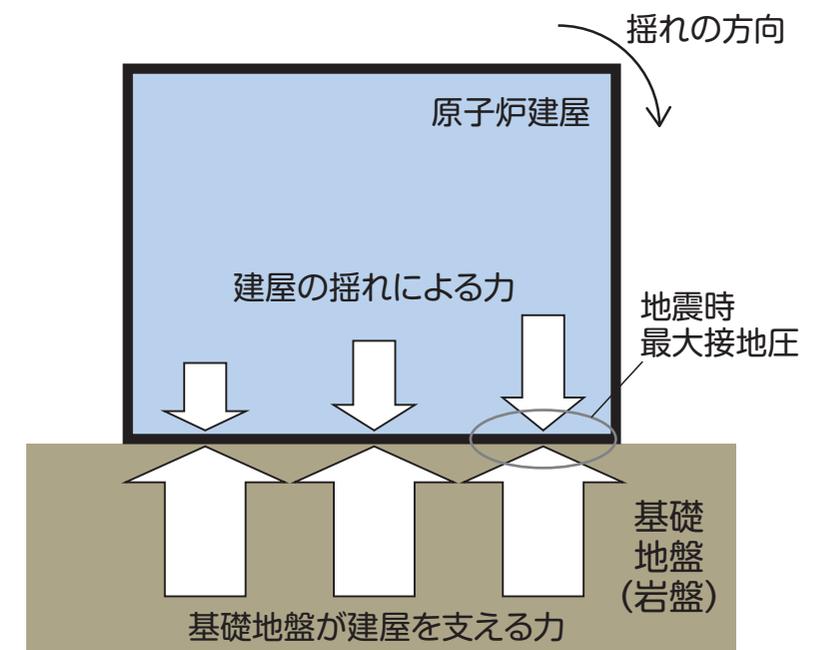
◇建屋の傾きが非常に小さい

地震時の揺れによる原子炉建屋の傾斜は小さく、機器等に影響を及ぼすものではない

十分に安定性があることを確認

なお、発電所の周辺には、地震の発生によって安全機能に重大な影響を与えるおそれのある斜面は存在しないことを確認しました

建屋を支える力 > 揺れによる力



イメージ図

東海原子力館（東海テラパーク）のお知らせ



テラちゃん

東海テラパークでは、東海第二発電所の安全対策や訓練の様態等を、各種パネルやビデオにてご覧いただくことができます。

発電所の現況:

燃料は原子炉から全て取り出され、使用済燃料プールで冷却しています。

テラちゃんのお友達
ゲンくんが仲間入り
しました



展示物等のご案内

*地域の方々の作品を展示しています

●5月27日～8月31日

「夏飾り」

～どなたでもご覧いただけます～

東海テラパーク

所在地 那珂郡東海村白方1-1

電話 029-287-1252

開館時間 9時～16時30分

入館料 無料

休館日 年末年始(12/29～1/3)



お問い合わせ先
土日祝日を除く 9時～17時



日本原子力発電株式会社

茨城総合事務所 茨城県水戸市笠原町978-25 TEL:029-301-1511
東海事務所 茨城県那珂郡東海村白方1-1 TEL:029-287-1250

当社ホームページ
<http://www.japc.co.jp/>